

- 深田委員長 ただいまより総務文教常任委員会を開会する。  
交流推進部所管の議案の審査に入る。  
認第17号「平成29年度焼津市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とし、当局の説明を求める。  
(当局説明)
- 深田委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。  
進行を交代してください。
- 松島副委員長 委員長を交代いたします。
- 深田委員長 温泉施設維持管理費の3,780万5,000円の金額ですけれども、今御説明で施設の維持管理の保守点検などの説明がありましたけれども、どういうふうに、いつ、毎月なのか、毎週なのか、毎日なのか、何をどのように点検しているのかと、もう少し詳細を聞かせてください。  
その点検が去年1年間ちゃんとやっていて、途中で見つかった、去年は全然問題なかったと。ことしになって急に壊れたという、そういうふうになっていたもんで、この時点で、去年の段階で何か兆候がなかったかどうかというところも確認したいと思います。
- 石原観光交流課長 保守、点検等の内容でございますけれども、実は井戸そのものにつきましては東海ガスさんに維持管理のほうをお願いしております。そちらの委託料がこの3,700万円のうちの約1,300万円が東海ガスをお願いしております。井戸そのものの維持管理でございます。  
それ以外に我々のほうで持っていますくみ上げたお湯を東海ガスからいただいた後に各施設に送るための設備、ポンプ類等ございますけれども、そちらにつきましては規定の期間で、物によって点検の間隔というのはさまざまでございますけれども、必要な点検等はしてございますし、あと、例えばごくごく単純な水量ですとか、水温みたいなものは定期的に毎日のように見ているものもございます。  
ですから、なかなか一概にどれぐらいの期間でやっているということは申し上げにくいんですけれども、その機械類については決められた期間内できちっと保守点検は実施しています。  
今回、井戸が大きく壊れたということでございますけれども、実はそちらは機械類の故障ということではございませんで、井戸そのもののパイプに少し亀裂が生じていて、そこから地上に水、それから、一緒に湧き出るガスが出ていってしまったということございまして、なかなかそちらの部分については定期的な点検というのはしにくいものですから、老朽化している時点で早目に調査して、何かしら対応がとればということもございまして、ほかの温泉地のほうの話聞いても、そういったケースというのは結構やっぱりどうしても発生しちゃう、水道管なんかでも同じときに埋めても壊れるものもあるし、壊れないものもあるのと一緒で、なかなかいつ壊れるかというのは発見はしにくいということもございまして、できるだけ今回のことがないよう

に管理をしていきたいというふうに思っています。

- 深田委員長 水質検査というのはやるんですよね。それは毎日なのか、毎週なのか、どういうふうな間隔でやっていますか。

何か去年、濁っているよというのを聞いたんですけれども、そういうのが影響、何かもう既にあったんじゃないかと。

- 石原観光交流課長 水質の検査は、温泉の場合ですとレジオネラ菌の関係で月1回やっているような状況でございます。

温泉そのものの成分の分析みたいなものは、実施はしてございませんで、そちらは今10年に1回は検査してきちっと更新するよというふうな制度になっているんですけれども、成分量みたいなものは毎年みたいな更新はしていません。

委員長がおっしゃった去年濁っているというのは、確かにそういった状況があったようございまして、そちらは目視でもある程度確認は我々のほうでできていまして、そういったことを、私もことし4月早々、そういったお話もいただいて実際、現地施設のほうで目でそういったものも少し確認させていただく中で、対応を考えている中で今回こういうような故障につながってしまったということでございます。

- 深田委員長 去年濁っているというのは情報が入っていて、目視も確認もしているけれども、それに対しては特に対策を講じるということにはなかったということだったんでしょうか。

- 石原観光交流課長 その原因が何かということが去年は特定するところまで至らなかったということです。

温泉そのものもやっぱり結構送る管の中の汚れが出たりだとか、あと、焼津の場合、ほぼ無色透明には近いんですけれども、やっぱり多少濁った感じになることも過去にもあったものですから、昨年来発生していた濁りがどういう原因かという特定までできていなかったということです。

- 松島副委員長 戻します。

- 小柳津委員 用宗から温泉が出たというような話が載っていましたが、ここも対抗馬として大変になってくると思いますが、お考えを聞かせてください。

- 石原観光交流課長 用宗のほうで温泉のほうもこの年末にはオープンするという話も聞いていますし、温泉以外にも今何かさまざまな仕掛けをしている事業者の方がいらっやってニュースで取り上げられたりしているので、我々としても非常に脅威であるとは感じています。

ですから、焼津の温泉はもっともっとPRしながら負けないように取り組んでいきたいというふうに考えています。

- 深田委員長 一応、副委員長、交代してください。

- 松島副委員長 進行を交代します。

- 深田委員長 ということは、用宗のこともあるし、これからまた、濁ったようなものが発生したときに原因を究明するような対応を検討していただくということはできるでしょうか。

そうすると、また、何かやらなきゃいけないんじゃないかというものですから。

- 石原観光交流課長 濁ったときの対応を検討する体制ということだけでなく、やっぱり

適切に温泉を利用者の皆様に届ける体制はしっかりつくっていかなくちゃいけないと思っています。

そういった中で、既に6月の議会でも市長のほうでお話したように新しい井戸についてもしっかり対応していきたいということで御答弁させていただいていますので、それに向けて事務のほうも進めていきたいというふうに考えています。

○深田委員長 わかりました。

○松島副委員長 交代します。

○深田委員長 質疑・意見を打ち切り、討論を許す。(なし)

◇採決の結果、認第17号「平成29年度焼津市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について」は全会一致、認定すべきものと決定

○深田委員長 議第60号「平成30年度焼津市一般会計補正予算(第4号)案」中、交流推進部所管部分を議題とし、当局の説明を求める。

(当局説明)

○深田委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。

誘客促進事業の内容を聞かせてもらっていいですか。

○石原観光交流課長 こちら、コンベンション、それから、スポーツ合宿等をされる学生ですとか、団体に対して宿泊の助成とか、1泊につき1,000円の助成をさせていただいている事業がございます。こちらのほうが平成21年から実施しておりますけれども、制度の定着もございまして、実は年々利用がふえている状況がございます。

今年度も当初予算である程度お願いしていたんですけども、実は今月でほぼ当初予算に達しそうなぐらいの利用の増加がございまして、今回補正をお願いするものでございます。

○深田委員長 わかりました。

質疑・意見を打ち切り、討論を許す。(なし)

◇採決の結果、議第60号「平成30年度焼津市一般会計補正予算(第4号)案」中、交流推進部所管部分については全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

○深田委員長 以上で交流推進部所管の議案の審査は終了した。

暫時休憩する。

閉会(11:03)

開会(12:36)

○深田委員長 会議を再開する。

教育委員会事務局所管の議案の審査に入る。

議第60号「平成30年度焼津市一般会計補正予算(第4号)案」中、教育委員会事務局所管部分を議題とし、当局の説明を求める。

(当局説明)

○深田委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある分科会員の発言を許す。(なし)  
質疑・意見を打ち切り、討論を許す。(なし)

◇採決の結果、議第60号「平成30年度焼津市一般会計補正予算(第4号)案」中、教育委員会事務局所管部分は全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

○深田委員長 以上で教育委員会事務局所管の議案の審査は終了した。  
以上で当委員会に付託されていた議案の審査は終了した。  
これで総務文教常任委員会を閉会とする。

閉会(12:39)